

令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	木祖村文化財多言語案内事業
事業主体 (連絡先)	木祖村 (木祖村教育委員会事務局：0264-36-3348)
事業区分	(3) 教育、文化の振興
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	2,040,500 円 (うち支援金：1,395,000 円)

事業内容

木祖村内に18点(15か所)所在する文化財は現在白い標柱に最小限の案内のみであるが、大きな多言語案内板を設置し案内する方法ではせっかくの文化財の景観を損ねてしまう懸念があるので、スマートフォンの読取バーコード案内板を設置し、現在日本語のみの表示の村ホームページで多言語を表示し、リンクさせ案内するもの。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

①支援金を活用し、拠点ごとの案内看板の設置ができた。看板設置にあたり新たに設置する案内表示の方法について文化財保護審議会委員から看板乱立の是非について意見があり、既存看板を利用するなど設置方法について検討し変更を行った。

②世界的な新型コロナウイルス感染症の影響により、看板設置やホームページ多言語翻訳の事業着手が遅れ、さらに感染症の拡大により入国制限などから外国人観光客が激減した。人の集まりが制限されたため、現地学習会は延期されたが3月23日に20名の村民の参加で開催した。参加者からは周回ルートについて、「詳しい説明の地域ごとコース」や「大まかな説明の全村コース」など、今後開催予定の講座内容についての意見をいただいた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

新型コロナウイルス感染症の影響により日本人観光客はもとより入国制限などから外国人観光客が激減し、当初目的としたホームページの閲覧カウントの増加は見込めなかった。今後の世界的な動向にもよるが、来年度は観光客の入り込みに期待し、ホームページの閲覧カウントの増加を見込み、いくつかの文化財拠点を結ぶ村民参加の講座を開催したい。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【設置した案内看板】

【目標・ねらい】

- ① 案内看板設置及びホームページ多言語翻訳
- ② ホームページ閲覧カウント増加と現地学習会開催

※自己評価【 C 】

【理由】

案内看板設置及び翻訳事業は完了し、現地学習会は開催できたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により入国制限などから外国人観光客が激減しホームページの閲覧カウントの増加が見込めなかった。